

構造詳細

- 1.側壁は、現場打ちコンクリートとの付着が良好な「KCスタンドフォーム」を使用します。
- 2.「KCスタンドフォーム」の長さ調整カット、セパレータ用穴開けは現場加工となります。
- 4.中詰めコンクリートは、製品高さの8割程度打設し、製品の継ぎ目と打ち継ぎ面が合わないようにします。
- 5.前面・背面ブロックからのアンカーを鉄筋で連結し、一体化を図っています。
- 6.上下の位置決めはガイドピンで行います。

